令和○○年度　◇◇立◆◆中学校　総合的な学習の時間　全体計画（例）

【生徒の実態】

○あいさつがよく，礼儀正しく対応できる

○素直で落ち着いている

○物事への対応がやや依存的であり，主体性

を伸ばす必要がある

【第１の目標】（学習指導要領）

【学校の教育目標】

豊かな心と確かな学力を身に付けた心身ともに健康な生徒の育成

（１）基礎的・基本的な知識及び技能を主体的に習得して，自分のものとして活用できる力の育成

（２）生徒自らが思考を広げたり深めたりしながら，新たな知識や価値を創造する力の育成

（３）学んだことを自分や生活との関わりで捉え，自分の生活や生き方に役立てようとする態度の育成

【保護者の願い】

○良好な人間関係の構築

○基礎的・基本的な知識及び技能の定着

○思考力，判断力，表現力の育成

○健康で安全な生活

【内容】＜目標を実現するにふさわしい探究課題と探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力＞（例）

|  |
| --- |
| 【総合的な学習の時間の目標】 |
| 探究的な見方・考え方を働かせ，地域の人，もの，ことに関わる総合的な学習を通して，目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し，自己の生き方を考えることができるようにするために，以下の資質・能力を育成する。【地域の実態】○三世代同居の割合が高い○地域としてのつながりや連携性が高い○学校教育に対する理解があり，協力的 |
| 知識及び技能 | 思考力，判断力，表現力等 | 学びに向かう力，人間性等 |
| 地域の人，もの，ことに関わる探究的な学習の過程において，課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに，地域の特徴やよさに気付き，それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。 | 地域の人，もの，ことの中から問いを見いだし，その解決に向けて仮説を立てたり，調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに，考えたことを，根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。 | 地域の人，もの，ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え，自ら社会に参画しようとする態度を育てる。【地域の願い】○自分たちの地域や産業，文化等に誇りをもつ○豊かな人間性を身に付ける○地域と積極的に関わり，行事等にすすんで参加する |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学年 | 第１学年（５０時間） | 第２学年（７０時間） | 第３学年（７０時間） |
| 探究課題 | 地域の自然環境や環境問題とその保全に取り組む人々や組織 | 地域の防災とそれに関わる組織の取組と人々の思いや願い | 町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織 |
| 探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力 | 知識及び技能 | 知識の概念化 | ・地域には，豊かな自然環境があることや，その保全に取り組む人々が存在することを知るとともに，地域の環境の現状と自分たちの生活との関わりを理解することができる。 | ・地域には，防災や防災意識を高めるための取組があること，それに関わる人々の思いや願いを理解するとともに，防災と自分たちの生活とのつながりや多様な立場の人々の防災の在り方を理解することができる。 | ・地域には，まちづくりや地域活性化の取組があること，それに関わる人々の思いや願いを理解するとともに，町づくりと自分の生活とのつながりを理解することができる。 |
| 技能の身体化 | ・調査活動や情報収集，目的や相手に応じたふさわしい関わり方などについて，それらの手順を様々な場面や状況で活用可能なものとして身体化し，安定的に発揮することができる。 |
| 探究的な学習のよさの理解 | ・課題解決に向けて必要なことを自ら考え，探究を自律的に進めることができる。 | ・各教科等で身に付けた知識及び技能等を総合的に活用・発揮することで，学習が深化するよさを理解することができる。 |
| 思考力，判断力，表現力等 | 課題の設定 | ・自分たちを取り巻く社会に広く目を向けて，活動の意図や目的を明確にしたりして課題を見いだすことができる。・解決の方法や手順を考え，見通しをもって計画を立てることができる。 |
| 情報の収集 | ・目的に応じて手段を選択し，情報を収集し適切な方法で蓄積することができる。・他者の意見や課題解決の方向性から，必要な情報を取捨選択することができる。 |
| 整理・分析 | ・問題状況における事実や関係を把握し，分類して多様な情報にある特徴を見付ることができる。・事象や考えを比較したり因果関係を推論したりして考え，視点を定めて多様な情報を分析することができる。 |
| まとめ・表現 | ・調べたり考えたりしたことをまとめ，相手や目的，意図に応じて論理的に表現することができる。・国語科や外国語科等で身に付けた技能を活用して表現することができる。 |
| 学びに向かう力，人間性等 | 主体性・協働性 | ・自分の意思や目標をもって，自他のよさを生かしながら協働して課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとする。 |
| 自己理解・他者理解 | ・探究的な学習を通して自分の特徴やよさを理解するとともに，異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとする。 |
| 将来展望・社会参画 | ・進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組むとともに，積極的に地域の活動に参加しようとする。 |

【学習評価】

・ポートフォリオを活用した評価の充実。

・観点別学習状況を把握するための評価規準

を設定する。

・個人内評価を重視する。

・指導と評価の一体化を充実する。

・授業分析による学習指導の評価を重視。

・期末，学年末には指導計画を評価・改善し，

次年度の計画に生かす。

【指導体制】

・全校指導体制を組織する。

・運営委員会における校内の連絡調整と指導

体制を確立する。

・ワークショップ研修を重視する。

・メディアセンターとしての余裕教室及び学

校図書館の整備・充実を図る。

・地域の教育資源をデータ化，教材化すると

ともに，日常的な関わりを行う。

【指導方法】

・生徒の課題意識を連続，発展させる支援と

工夫を行う。

・個に応じた指導の工夫を行う。

・体験活動を重視する。

・各教科等との関連を重視した指導を行う。

・言語により整理分析したり，まとめ・表現

したりする学習を重視する。

・協働的な学習を充実させるため，思考ツー

ルを積極的に活用する。

【学習活動】

・地域の実態，生徒の実態を踏まえ，探究課

題を設定する。

・地域の人，もの，ことを生かした学習活動

を行う。

・学習成果を表現する場として文化祭を活用

する。

・年間１テーマでの取組を基本とする。

【各教科等で育成する資質・能力】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 国語 | 社会 | 理科 | 数学 | 外国語 | 美術 |
| ・社会生活に必要な国語の知識や技能・言語文化に対する親しみや理解・筋道立てて考える力や論理的に考える力，人とのかかわりの中で伝え合う力・自分の思いや考えを確かなものとしたり，広げたり深めたりする力　　など | ・我が国の国土と歴史，現代の政治，経済，国際関係等に関する理解・調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能・社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力・社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力・思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりする力　　など | ・自然の事物・現象についての理解・科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能・観察，実験などを行い，科学的に探究する力など | ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などの理解・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能・数学を活用して事象を論理的に考察する力・数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力　など | ・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解・これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能・コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり，これらを活用して表現したり伝え合ったりする力　など | ・対象や事象を捉える造形的な視点についての理解・創造的な表現・主題を生み出し豊かに発想し構想を練る力・美術や美術文化に対する見方や感じ方　　　など |
| 音楽 | 保健体育 | 技術家庭 | 特別の教科　道徳 | 特別活動 |
| ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり，音楽の多様性についての理解・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能・音楽表現を創意工夫することや，音楽のよさや美しさを味わって聴くこと　　など | ・各種の運動の特性に応じた技能・個人生活における健康・安全についての理解・運動や健康についての自他の課題を発見し，合理的な解決に向けて思考・判断し他者に伝える力　など | ・生活と技術についての基礎的な理解とそれらに係る技能・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，表現するなど，の課題を解決する力　など | ・課題解決に向けて主体的に活動するための道徳的な判断力，心情，実践意欲と態度　など | ・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについての理解と行動の仕方・集団や自己の生活，人間関係の課題を見いだし，解決するために話し合い，合意形成を図ったり，意思決定したりする力　　など（キャリア・ノートの活用） |

【小学校や近隣の中学校，進学校との連携】

【近隣の小学校との連携】

・小学校で育成された資質・能力及び小学校での学習内容を確認する。

・ポートフォリオやキャリア・ノートなどによる学習の記録を行う。

・○○中学校の「総合的な学習の時間発表会」を校区内６年生に公開し，中学校の総合的な学習の時間への見通しをもたせるようにする。

【近隣の中学校との連携】

・総合的な学習の時間の目標，内容，年間指導計画等の交流。

・指導方法や学習評価の在り方の合同研修を行う。

【進学校との連携】

・中学校での総合的な学習の時間の目標，内容，年間計画等及び育成を目指す資質・能力の提供　等